

南九州市地域おこし協力隊 活動報告書

2017.12月

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	デザイナー
隊員氏名	まえさこ しょうご 前迫 昇吾
着任日	平成 28 年 11 月 1 日

～ 主な活動 ～

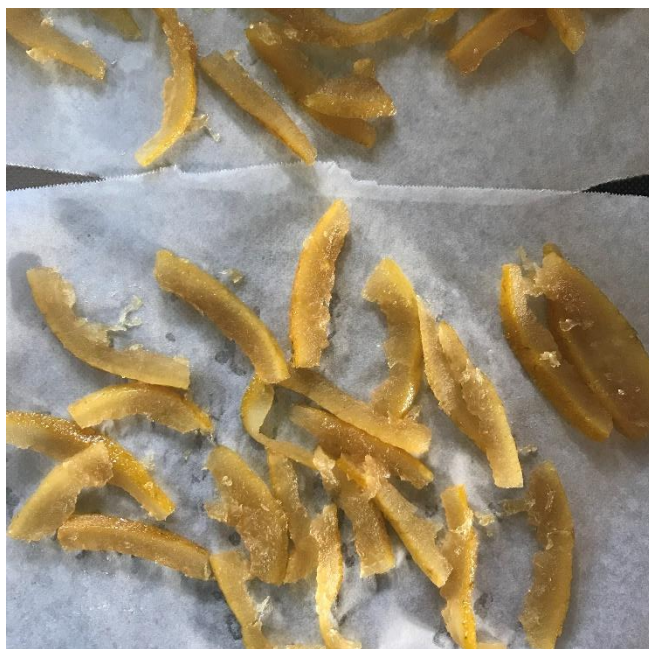
1. 捨てる皮を食べる！？自家製ボンタンピール
2. 穎娃中学校講演

1. 捨てる皮を食べる！？自家製ボンタンピール

ボンッと鈍い音を立て、庭の果実が食べごろの合図。12月1日のこと。私が暮らす家の庭には、サワーポメロの木と金柑の木。音を立てたのは、サワーポメロ。ボンタンに似てるよなーと思って調べてみると、サワーポメロとボンタンは同じもののよう。この果実、皮をむくと、実が少なく、皮が厚い。普段だったら捨てるこの皮。どうにか食べれないものかとレシピを検索。どうやらピールというお菓子が作れるみたい。ドライフルーツですね。細切りにし、30分ほど砂糖で煮詰め、オーブンで焼く。ほろ苦く後から甘い大人のお菓子の完成。これに塩をまぶして、味を三層に。塩味、苦み、甘み、が詰まった絶妙な味に！とても美味しいお菓子です。ちょうど食べごろの時期。是非お試しください。



↑ 庭のボンタン



↑ 乾燥させる前のボンタンピール

2. 穎娃中学校講演

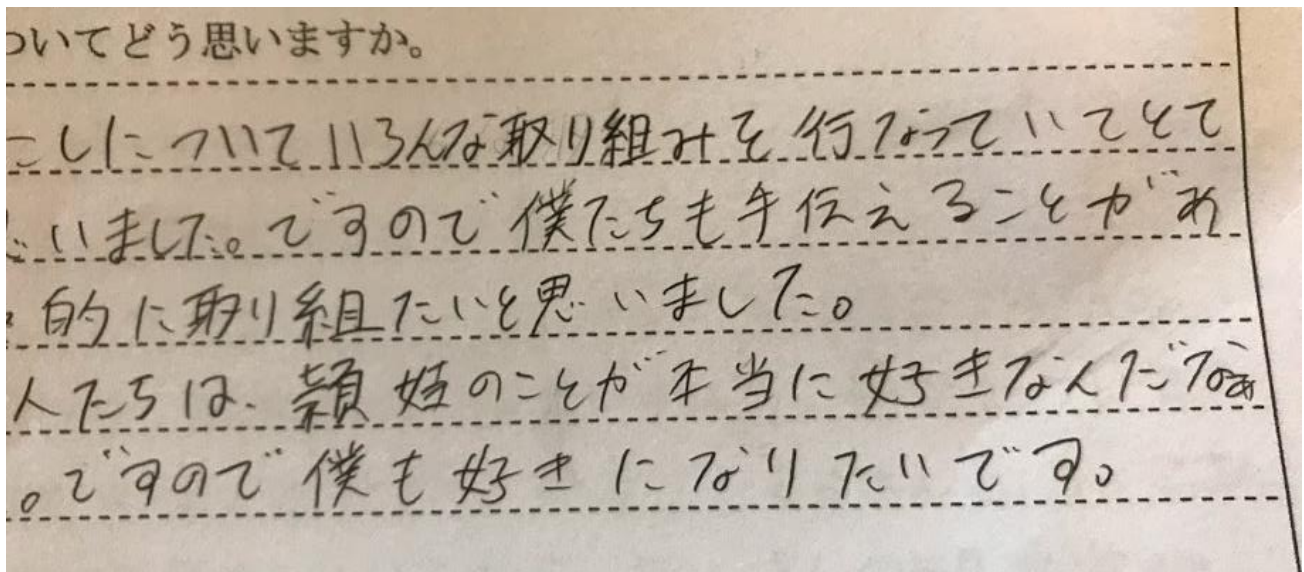
穎娃中学校にてお話をさせていただきました。

担当の先生からいただいたお題は、職について。毎年、穎娃で働く人を招いて講演をしてもらっているそう。

私の職業であるWEBデザイナーについて、穎娃に来た理由、穎娃でやってきたことなどを中心にお話させていただきました。日頃、プレゼンテーションする機会は多いため、緊張していなかったのですが、中学生の反応の悪さに変な汗と緊張が襲ってきました。自分の中学時代を振り返ると、周りに友達がいる中、大笑いしたり、感情をあらわにすることが恥ずかしかったように思います。

反応の悪さに手ごたえもなく、途方にくれていました。

後日、生徒の感想文が届きました。ほとんどの生徒が、「穎娃をもっと好きになりたい」と。何かしら思いが届いたようで良かったです。自分自身、鹿児島がつまらないと思い、飛び出し東京へ。鹿児島に帰ってきたのは、鹿児島が面白いと感じることができたから。この感情を持てるか持てないかがとても重要になってくると感じています。私たちと出会えたことが、後の人生に響いてくることを期待します。自分たちにとっても振り返りができ、貴重な会となりました。穎娃中学校の皆様、ありがとうございました。



↑生徒の感想文より抜粋